

浄土真宗本願寺派 小倉組

サンガ小倉

2018年
秋号

平成30年
9月発行

みんな、ののさまほとけのこ

「さいた、さいた、ちゅーりっ
ぷのはなが…」

小倉組には28ヶ寺のお寺が
ありますが、(平成30年)現在、実
に11ヶ寺ものお寺が保育園や幼
稚園を運営しています。単純に
1000人以上のこども達が、
小倉組関連の園に通っている
ことになります。園での生活の
中で、時には本堂で、時には園
舎の仏さま(ののさま)の前で
過ごします。走り回ったり、お
歌を歌ったり、皆とおつとめ
(お参り)をしたりもします。
これは、有名な童謡『ちゅー
りっぷ』を、ある保育園に通う
こどもが2歳の時に歌ったと

浄教寺 住職 藤上 良韶



きのお話です。かずくん(仮名)
は、じいじとばあばが大好きな
男の子。保育園で教えてもらっ
たばかりの『ちゅーりっぷ』を
大きな声で歌ってくれるので
すが、何かが違います。よくよ
く続きを聴いてみると
「なんまんだあ なんまんだあ
あか・しろ・きいろ ののさま
みても きれいだな」

「ならんだ ならんだ あか・
しろ・きいろ どのはな みて
も きれいだな」

『ちゅーりっぷ』の歌詞と並べ
てみると、見事に韻を踏んでい
たので一瞬、違和感がありませ
ん。たぶん、かずくんは自然と
歌詞が入れ替わっていたので
しょう。

「衆生の苦しみ・悩みが仏様の
苦しみであり、衆生の喜び・幸
せが自分の喜びとするのが仏
様の慈悲である」

仏教で、花と言えば蓮(はす)
が描かれることが多いようで
す。これは、汚い泥の中に根差
しながら、美しい花を咲かせる
様子がお浄土にふさわしいと
尊ばれたからです。しかし、お
浄土には様々な花が咲き乱れ
ています。当然、ちゅーりっぷ
だって咲いています。同時にお

浄土の花は、仏様(ののさま)の
慈悲を表します。光にあふれ、
優しさが、慈悲がいっぱいの様
子がお浄土の風景なのです。

1年ほど前に、かずくんの両
親は、この替え歌を歌う様子を
見て、かずくんの中に仏様が
いてくださることを喜んだそう
です。ののさまも微笑んでいる
ようです。

ただ、今ではすっかり替え歌
ではなくなったようですが
(笑)、食前のことばと食後のこ
とばは頑張っているそうです。

合掌



♪
なんまんだあ
なんまんだあ
あか・しろ・きいろ
ののさま みても
きれいだな